

平成29年度 施策評価表

課・グループ名

産業振興課商工観光グループ

作成年月日：平成30年9月25日

施策名	2 - (2) - ② 地域と連携した工業・雇用環境づくり		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	2. 地域ぐるみで支え育てる活力ある産業経済のまちづくり	(2) 地域で支える活力ある産業の育成	②地域と連携した工業・雇用環境づくり
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規企業の誘致による雇用の創出、企業との連携強化により雇用環境の充実を目指します。 ● 工業団地企業協議会との連携により、立地企業や商工会、地域との交流促進を図ります。 ● 季節労働者の通年雇用化を促進するため、南空知通年雇用促進協議会との連携を図るとともに、商工会・建設業協会等の協力を得て事業参加者の確保に努めます。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 工業団地内に立地している企業の中には、積極的に町民を雇用している企業もありますが、新規企業立地の低迷と相まって、新たな雇用機会の確保が進んでいない状況にあります。 ● 町内2箇所の工業団地に立地している企業等により組織している南幌工業団地企業協議会と連携し、地元高校を対象とした企業見学会等を実施しています。 ● 町内においても景気低迷により雇用環境が厳しい状況にあります。 ● ふるさと物産館等にハローワーク求人情報誌等を設置し、雇用に関する情報を提供しています。 ● 本町の季節労働者の通年雇用化に向けて、南空知通年雇用促進協議会が実施している技術講習会や資格取得支援事業などの情報提供、参加勧奨に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 南幌工業団地企業協議会との連携を深め、地元雇用の拡大や定住人口の増加につながるような雇用を生み出す必要があります。 ● 南空知通年雇用促進協議会が実施する事業への参加者が少ないため、積極的な参加勧奨が必要です。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化
	季節労働者の通年雇用化を促進するため、通年雇用化人数を成果目標として設定している。			成果指標 (総合計画・施策評価)			○ 可 能
				季節労働者の通年雇用化人数			不可 能
				代替指標 ※成果指標がない場合			未計測
							指標の設定
			可 能				
			不可 能				
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H26	H27	H28	H29	H33	
目 標	人	5	5	5	5	5	南空知通年雇用促進協議会が実施する技能講習会等事業の参加者は南幌町で13人いたが、通年雇用化は2人となっており、通年雇用化につながっていない現状となっている。
実 績	人	0	2	0	2		
達成率	%	0	40	0	40		
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度	通年雇用化対策については、南空知通年雇用促進協議会が事業の実施を行っており、今後も事業の周知や技能講習への参加呼びかけ等の情報発信に町として取り組んで行く必要がある。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				C	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】 事務事業の種類	【必要性】 事務事業の必要性	【妥当性】 町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が適当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への 貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業 番号	事務事業名	種 類	所 管 課 名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必 要 性	妥 当 性	事務事業 評価結果 (方向性)		事業費(千円)	
					目 標	単 位						H29実績	H30予算
1	通年雇用促進支援事業	(1)	産 業 振 興 課	通年雇用人数	5	人	■事業主向け通年雇用支援セミナー(雇用確保に係る事業) ■情報提供(就業促進に係る事業) ■通年雇用実現セミナー(就業促進に係る事業) ■建設機械系技能講習事業(就業促進に係る事業) ■意識啓発セミナー(地域自ら実施する取組) ■季節労働者資格習得支援事業(地域自ら実施する取組)	I	I	1 現状のまま継続	52	高い	
					2	人					53		
2													
3													

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H29事業費	52
H30予 算	53

②H30に実施した新規事務事業				
実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H30予算(千円)
1				
2				
3				

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	季節労働者の通年雇用化の促進のため、引き続き南空知通年雇用促進協議会において支援をおこなっていく必要がある。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の 妥当性 A	

4. 今後の方向性 ※外部評価 (行政評価委員会)									
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	【評価】 特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成30年度以降 の予算の方向性	
			A						
			B						拡大
			C	1					○ 維持
			D						縮小